

交通死亡事故は、月ごとに発生傾向が異なっています。本注意報は、平成20年から平成29年までに県内で発生した交通死亡事故等について調査・分析し、当該月の発生傾向を公表することにより、交通死亡事故の発生を抑制するために役立ててもらおうとするものです。

## 6月予報(発生傾向)

### 1 前方不注意・スピード違反の事故が多い

6月は、0時台から9時台に掛けスピード(最高速度)違反を原因とする死亡事故が、11時台から23時台に掛け漫然運転等の前方不注意を原因とする死亡事故が多発します。

車を運転する際は、運転に集中するように心掛け、スピードの出し過ぎに注意しましょう。

### 2 車両相互事故が多発

6月は、事故形態としては、正面衝突・出会い頭等の車両相互事故の発生が最も多く、全事故の6割以上(61.2%)を占めます。6月は、車両相互事故の発生割合が年間でも高い月となっています。

### 3 死亡事故多発日

6月は、1日、3日、8日及び14日が死亡事故の多発日となります。

### 4 昨年は3件の死亡事故が発生

平成29年6月は、6時台から14時台に掛けての昼間に、漫然運転と安全速度を原因とする工作物衝突の四輪単独事故が2件、安全不確認を原因とする四輪対二輪車の出会い頭の事故が1件発生し、3人の方が亡くなられています。天候は晴れ又は曇りでした。

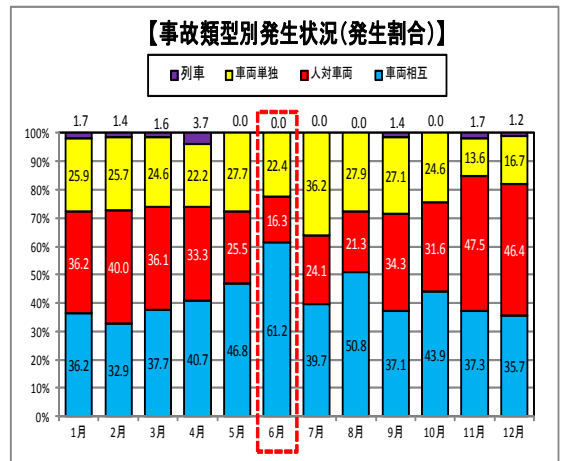
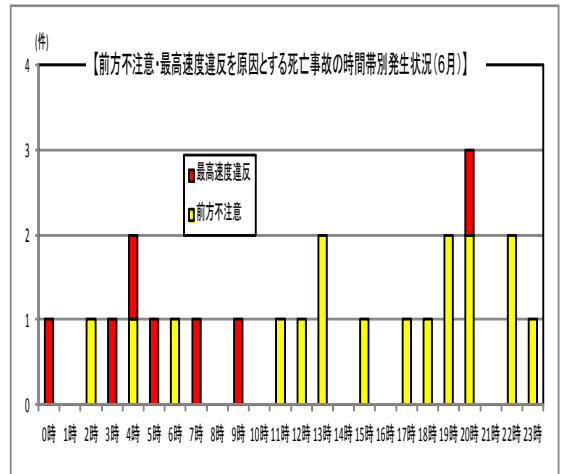
### 5 その他

雨の日が多い季節になります。

梅雨に備えて、ワイパーブレードを交換するなどしてクリアな視界を確保するとともに、スリップ防止のため速度の出し過ぎに注意しましょう。特に、夕暮れから深夜に掛け、運転席から見て、右から左へ横断する歩行者の見落としに注意しましょう。

自転車の傘さし運転は、傘で前方の確認ができなくなったり、片手運転でふらつくなど大変危険です。絶対にやめましょう。

歩行者は、雨が降ると足元の水たまりに気を取られたり、先を急ぐ余り注意力が散漫になり、周囲の安全確認がおろそかになります。左右の安全を確認してから道路を渡りましょう。



# 7月 交通死亡事故発生注意報(予報)

交通死亡事故は、月ごとに発生傾向が異なっています。本注意報は、平成20年から平成29年までに県内で発生した交通死亡事故等について調査・分析し、当該月の発生傾向を公表することにより、交通死亡事故の抑止に役立ててもらおうとするものです。

## 7月予報(発生傾向)

### 1 前方不注意による事故が多い

7月は、漫然運転・脇見運転等前方不注意による死亡事故が多発しています。

眠気や疲れを感じたら早めに休憩を取り、緊張感を保って運転に集中しましょう。

### 2 午前11時台、午後3時台に多発

7月の事故は、午前11時台と午後3時台に多発します。

観光、訪問など私用目的での運転中に死亡事故を起こしています。

### 3 車両単独事故が多発

事故形態としては、車両単独事故の発生が年間で最も多く、仙台市内や栗原市内の市道などで多発しています。

### 4 死亡事故多発日

7月は、2日が、交通死亡事故の発生が多い死亡事故多発日となります。

### 5 昨年は5件の死亡事故が発生

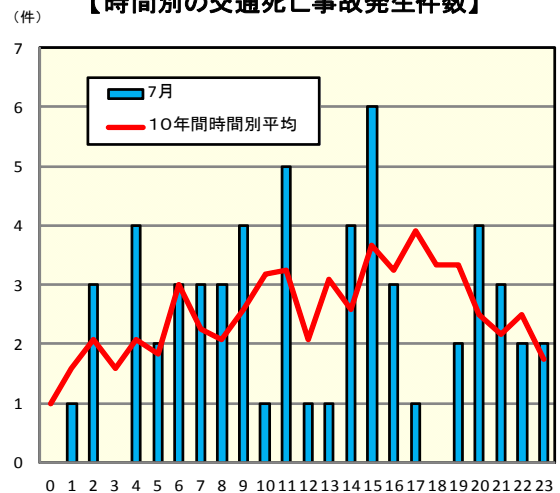
平成29年7月は、右側通行と安全不確認を原因とする四輪同士の正面衝突事故、出会い頭事故が各1件、ハンドル操作不適、漫然運転を原因として四輪車が工作物に衝突する車両単独事故が2件、原因不明の自転車単独の転落事故が1件の計5件の死亡事故が発生し、3人の高齢者(65歳以上)を含めた5人の方が亡くなっています。昼間の発生が4件、夜間の発生が1件(四輪同士の正面衝突)でした。

### 6 その他

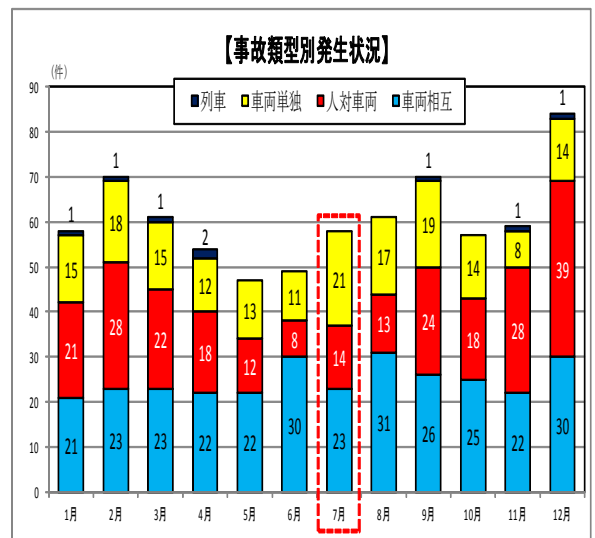
シートベルトは、交通事故に遭った場合の被害を大幅に軽減し、運転する際正しい姿勢を保たせることにより疲労が軽減されます。

運転者はもちろん、後部座席を含めた全ての同乗者もシートベルトやチャイルドシートを正しく着用しましょう。

【時間別の交通死亡事故発生件数】



【事故類型別発生状況】



～ うしろもね シートベルトは 全席で! ～